

# 「何度も洗えるシルク生地」を実現！

会社名 浜縮緬工業協同組合  
 所在地 滋賀県長浜市祇園町871番地  
 従業員 10名  
 資本金 6,099万円  
 売上高 3,000万円  
 業種 染織整理業、縮緬織物の精練・仕上げ等



浜縮緬工業協同組合

## 支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 中期ビジョンの明確化。ブランディング、販売・マーケティングの考え方を整理。
- 新事業展開を行う上での業務体制の整備についての方針が策定され、「洗えるシルク」の製造・販売が開始されている状態としたい。
- 浜縮緬のブランドに加えて、「洗えるシルク」で新たなブランド形成を図る。

## 支援を受けてできるようになったこと

After

- 「Yasa Silk」で商標権の登録。
- 顧客への提供価値を明確化し、2022年10月のプレスリリースにおいて検討結果を踏まえてメッセージを発信することができた。
- 新加工技術を行った浜縮緬を用いた寝具カバーの販売開始。
- 新加工技術について最適化の考え方を整理した。

## 今後の事業展開の展望

Future

- 新加工技術について最適化のための試験を行う必要があるが、これについては県の工業技術センターの協力が得られるように段取りを整えた。また、データの解析については、引き続き通常支援にて染色技術専門家の支援が受けられるように体制を整えている。
- 新加工技術の最適化が実現すればマーケットも広がり、売上げ増加を見込める。

## 重点支援を受けた事業や商材

### 浜ちりめんの進化 ついに洗えるシルク登場！

シルクを家庭用洗濯機で  
**60回** 洗っても  
 摩擦によるスレ 色落ち 縮み  
 をほとんど起こしません。

Yasa Silk  
 Washable & Sustainable

「Yasa Silk(ヤサシルク)」は、シルク生地を家庭用洗濯機で60回洗っても、シルク最大の弱点である湿摩擦により発生するスレをほとんど起こさず、縮みも非常に少なく、色落ちもほとんど無いという性能を、織り上がった生地での加工により実現したことが大きな特徴です。

シルク本来の持つ、吸放湿性の良さや夏涼しく冬暖かいといった性能もそのままに、他のシルク生地にも加工を施すことができ、様々な分野にお使いいただけます。



## 重点支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
新事業展開を行う上での具体的な計画の策定	新事業展開を図る上で、まずは中期ビジョンと具体的なアクションプランを明確にする必要がある。
新事業展開に則した技術・知財戦略の策定	新事業展開を行う上で、新加工技術についての技術・知財戦略策定は必要である。ブランド戦略に基づく商標権の獲得も必要となる。
ブランド戦略および販売・マーケティング戦略の策定	新事業展開を行う上で、ブランド戦略及び販売・マーケティング戦略の策定は必要である。
新事業展開に伴う契約上の手立ての策定	新事業展開を図る上で、関係機関との契約関係を整理することは必要である。
新事業展開に則した業務体制の整備	新事業展開を行う上で、協同組合として業務体制を明確にすることは必要である。

## 重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
新事業展開を行う上での具体的な計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>記者発表や展示会で、「洗えるシルク」の今までの技術開発の成果が世の中で認められた形となった。</li> <li>経営や事業戦略の観点から知的財産を取扱うことが重要であることを認識できた。</li> </ul>	中小企業診断士 ブランド専門家 知財戦略専門家
新事業展開に則した技術・知財戦略の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>「洗えるシルク」の加工方法については、対外的に公開する部分と、組織内に秘匿すべきノウハウの峻別が重要との認識が高まった。</li> <li>先行技術調査により、従来技術と比べ新加工技術の特徴が明確となった。</li> </ul>	中小企業診断士 弁理士 染色技術専門家
ブランド戦略および販売・マーケティング戦略の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品化第一号として、寝具カバー「湖のかがやき」が販売開始されたが、ブランディングについてYasa Silkの商標を記載してもらう等の取組が大切だと認識できた。</li> </ul>	中小企業診断士 ブランド専門家
新事業展開に伴う契約上の手立ての策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同研究を行う場合には、研究成果の帰属の明確化等、契約を締結することが重要との認識が高まった。</li> </ul>	中小企業診断士 知財戦略専門家
新事業展開に則した業務体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>特許出願やノウハウ管理を行う上での注意事項について認識を深めることができた。</li> <li>工業技術センターとの取組を行うことにより、加工処理の最適化を行うことが重要であると認識できた。</li> </ul>	中小企業診断士 染色技術専門家 知財戦略専門家

## 支援チーム紹介

リーダー専門家:中小企業診断士 鈴置 祐介

活用専門家:知財戦略専門家、弁理士、ブランド専門家、染色技術専門家

知財総合支援窓口担当者:滋賀県知財総合支援窓口 吉井 映滋

PO(プログラムオフィサー):百瀬 隆